# 八尾市教育センター NEWS

令和3年9月
所報：365


教育相談
072-941-3365

情報推進
072-943-5785

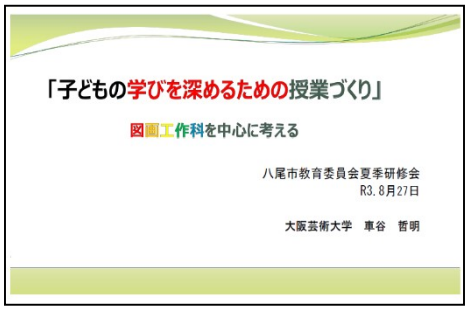
研究･研修
072-943-5784

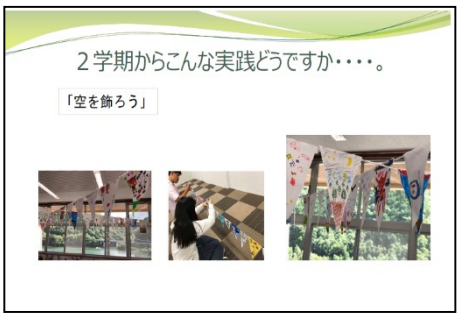

教育センター
Web サイトは
こちらから

「認め合い　ともに生き未来を切り拓く八尾の教育」をめざして

## 「図画工作」「美術」授業づくり研修

日　　時：令和３年８月27日（金）15:30～17:00
実施方法：Web 開催（Zoomにて）
講　　師：大阪芸術大学　教授　車谷　哲明




「図画工作」「美術」授業づくり研修は、学習指導要領の趣旨を生かした児童生徒主体の授業について学ぶことを通して、「図画工作」「美術」の授業力の向上を図ることねらいとしています。今年度の研修では、「子どもの学びを深めるための授業づくり（造形活動）」～図画工作科を中心に考える～と題して車谷先生に講演をしていただきました。

研修では、「図画工作」「美術」において新しい学習指導要領がめざしているものとは何かを振り返り、授業を計画するときの大切なポイント、評価のあり方について教えていただきました。研修の後半には『こんな実践いかがですか…。』ということで ２ 学期に向けて図画工作の実践を提案していただきました。

≪受講者の感想≫

・講義の中でのお話で、素材体験をしっかりさせることの大切さについて実感しました。木の実や葉っぱなどの校庭や近くの公園で手に入るものは、どんどん取り入れて少しでも触れる機会を作っていきたいと思います。愛知県緒川小学校のトピックタイムは本当に素敵だと思いました。また、具体的な活動内容を紹介していただけて、有り難かったです。普段の図工の授業にも取り入れていきたいと思うものがいくつかあったので、実践していきます。

・図工の指導で描くものの大きさなどを言ってしまうことがあったが、子どもの発想や考えを狭めてしまうものだったと感じました。技能だけでなく子どもの考える力を伸ばすこともしっかり意識していこうと思いました。

# 情報モラル・セキュリティー研修

８月 24 日（火）　曙川中学校教職員校内研修（情報モラル・セキュリティ）

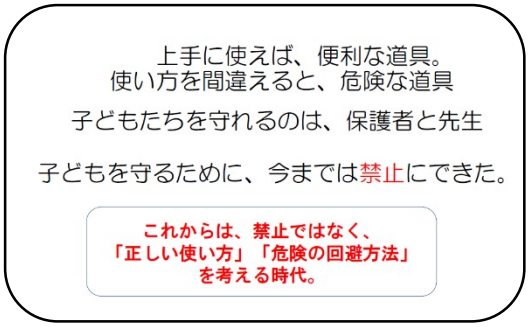
情報モラル・セキュリティについて、校内研修を実施しました。

ICT 機器は大変便利な道具ですが、使い方を間違えると危険なものです。教育センターでは、ICT 機器活用の研修だけでなく、トラブル予防・回避のための情報モラル・セキュリティの研修も実施しています。

不正アクセス、架空請求、アカウント乗っ取り、生活習慣への悪影響など、ICT 機器に関するトラブル件数が年々増加しています。SNS や動画サイトなど、さまざまな場面でネットワークにつながる社会環境で、正しい使い方や、危険の回避など、大人も子どもも自分事として考えていく必要があります。

研修では「ルールを子どもと一緒に考えるメリット」や「インターネット上の著作権について」など、事例とともに考えました。

受講した教職員は「ネットモラルについてメリットデメリット、危険性も把握しておかなければならないと感じた。」「利用の禁止ではなく、どう利用することでよりよい生活が送れるかを生徒とともに考えることの大切さを実感した。」など、情報モラル・セキュリティの重要性を改めて実感していました。




スライドの一部。「これからは、禁止ではなく、正しい使い方、危険の回避方法をみんなで考えていく時代。

情報モラル・セキュリティについて動画等で学べるアプリケーションの紹介。

＜受講者の感想（FORMS によって集約）＞

・SNS のメリット、デメリットが具体的に示されていて、わかりやすかったです。使い方で不明なことが多かったのですが、本日の講義で少しできそうな気がしました。ロイロノートを道徳の授業で使用し、みんなの意見を見せられたらいいなと思いました。

・一度広教の教材を道徳の授業で使ったことがありますが、ネットモラルの必要性から朝学活や昼食の時間、終学活で活用し、考える機会を増やす必要があると感じました。禁止ではなくどうやって安全に使っていくかを考えながら指導していきたいと思います。

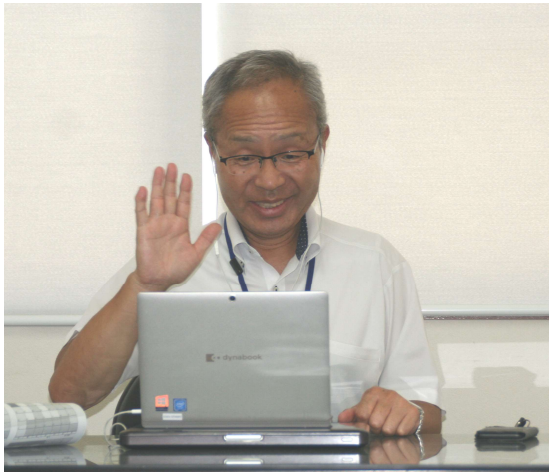
禁止にするのではなく、一緒に考える。生徒も保護者も、そして教師もみんなこの問題に対しては、１年生なのだということを忘れずに、取り組んでいきたいと思いました。

教育センターでは、教職員の資質と専門職としての知識・技能の向上と教職員の指導力向上に向けた意識改革の推進を目標に、各種研修を実施しています。

中核市となった平成 30 年 4 月からは、八尾市が主体となって研修を実施することになり、普遍的な研修だけでなく、本市の教育課題に即した研修も実施しています。

# オンライン英会話

令和２年度から全面実施された小学校新学習指導要領において、「外国語」が教科化されるにあたり、教育センターでは授業づくりや教員の指導力向上研修を実施し００ てきました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度より Teams によるオンライン会議システムを使用した研修「オンライン英会話」（希望者研修）を実施してきました。授業力向上を目的として、身近なテーマ（食べ物、スポーツ、旅行、映画等）について、研修とはいえ楽しく学ぶ英会話をモットーに海部広明指導員（元小学校長・中学校の英語科教員）が中心となり、時に NET の参加を得ながら行っています。



海部広明指導員

**＜参加者感想＞**

今日は楽しい英会話をありがとうございました。とても緊張していましたが、あっという間に時間が過ぎ、もう少し続けたいという思いが残るほど、楽しく学ばせていただきました。

今回私は、子どもたちに「外国語の勉強って楽しいな」と感じてもらえるような授業づくりを進めていくために、私自身も学ぶ機会を持ちたいと思い、参加させていただきました。外国語の授業づくりに向けて、本を読んだり、映像から学んだり、歌を聴いたり、いろいろな方法で学ぶことはできますが、やはり、「実際に話す」学びが何より大切だと改めて感じることができました。（小学校教諭）

In online lessons only one person can speak at a time. But a good point is it is easy to share pictures or homepage links while talking which makes it easy to communicate.［オンライン英会話では一人ずつしか話せませんが、良い点は話す時に写真・絵やホームページなどを共有できるのでコミュニケーションがスムーズになると思います。］（令和２年度 NET）

令和３年度ＮＥＴ（T.J.さん）

Yaopedia* はとても使いやすく、活用していきたいと思います。小学生の教科書は日常に即している分、伝えたい事柄も多いと感じます。授業では、本当に子どもたちが伝えたいことを英語にできるように、英語化をどんどんしていきたいと取り組んでいます。その場で質問に対して答えて終わりではなく、それを Yaopedia に追加していくと授業に役立つ辞典にどんどんなっていくと思うので、その都度、ジャンルや言葉を追加していこうと思います。

Yaopedia*　本研修受講者・NET との連携による英単語・表現集（令和２年度～）

毎日の授業や NET とのコミュニケーションにおいて活用することをめざし、本市教職員自らが単語・表現を随時加筆・修正していく英単語・表現集。身近な英語を身につけることにより英語に対する興味関心をさらに高める目的を持つ。TEAMS 上にあるが今のところ閲覧するためにはオンライン英会話に申し込んで参加する必要がある。

Yaopedia（部分）

| 日常英語に関する英語表現 | | | |
|---|---|---|---|
| 日本語 | 英語 | 列1 | 列2 |
| どうぞ | Here you are. | | |
| ありがとう。どういたしまして。 | Thank you. / You're welcome. | | |
| 立ってください。/座ってください。 | Stand up./ Sit down. | | |
| 大きな声で。 | Big voice ! | | |
| [illegible] | Raise your hand. | | |
| 顔を私に向けて。 | [illegible] | | |
| (デモンストレーション)を見て。 | Watch (the demonstration). | | |
| (黒板を)見て。 | Look at (the blackboard). | | |
| (机を)戻して。 | Move (your desks) back. | | |
| 教科書を出して。 | Get out your textbook. | | |

学校　クラスルームイングリッシュ　日常英語　あいづち等　質問等　スポーツ　食物　料理　旅行　趣味　オノマトペ　仕事　音楽　乗り物

## 教育センター「情報公開コーナー」

教育センターＢ棟（東側）の２階に「情報公開コーナー」があります。各種教育関係図書・雑誌等を配架しています。もちろん「教科書センター」として八尾市で採択している教科書や他社の教科書もあります。研修等で来所された時に直接ご覧いただければ幸いです。教科書・その他書籍・雑誌等も２週間の貸し出しを行っております。今回は９月に入った雑誌等の種類とタイトル・目次の一部を紹介いたします。

**「こころの科学　HUMAN MIND SPECIAL ASSUE 2021」日本評論社**
**統合失調症のひろば編集部[編]　「山本昌知　臨床作法」**
●山本昌知を語る　・座談会　・対談　・インタビュー　・エッセイ　等

**「こころの科学」９月号（年６回奇数月発行）日本評論社**
＜特別企画＞ドメスティック・バイオレンス
・DV とは何か　あらためて DV とは／被害者の精神状態／児童虐待としての DV
／法律から見た DV
・被害者の支援　被害者の心理と経験過程／大阪府女性センターの取り組み
／警察との連携／看護の役割／面会交流の課題／トラウマの治療
・DV と社会　コロナ禍の DV 支援／デート DV／加害者臨床
＜新連載＞医療という行為

**「指導と評価」（日本教育評価研究会）９月号**
・特集１　メタ認知を生かした指導
・特集２　自殺予防
・連載　・「教師力アップセミナー」子どもとともに成長する教師をめざして
・「事実を伝え、意見を述べる」自ら進んで取り組む『書くこと』の指導
・「教育の窓」AI に支援されたこれからの学びとは
・特別寄稿「標準化と適切なアセスメントを考える」
・巻頭言「メタ認知をどうとらえ、指導に生かすか」

**「道徳教育」（明治図書）９月号**
＜特集＞とにかく楽しい道徳授業をつくるアイテム５０
・アイテムの活用と楽しい道徳授業づくり
・とにかく楽しい道徳授業をつくる必須アイテム３０
・とにかく楽しい道徳授業をつくる教材別アイテム２０
・特別企画　心に響く自主教材―教科書時代でも活用したい教材がある

・スマイル道徳授業づくり　ベテランが教える教材を見る「目」

**「月間学校教育相談」（ほんの森出版）９月号**
＜特集１＞繰り返し同じ注意をされる子
＜特集２＞ヤングケアラーについて知る

**「特別支援教育研究」（全日本特別支援教育連盟編集、東洋館出版社）９月号**
・特集　「インクルーシブ教育システムのいまとこれから」

**「初等教育資料」（文部科学省編集 、（株）東洋館出版社発行）９月号**
・特集Ⅰ　「防災教育の推進」
・特集Ⅱ　「[生活]体験活動と表現活動を相互に繰り返すことにより、気付きの質を高める学級活動の充実」

**「中等教育資料」（文部科学省編集、学事出版）９月号**
・特集Ⅰ　「学校教育活動全体を通じて取り組む体育・健康に関する指導」
・特集Ⅱ　「学校外の人材や施設を活用した芸術に関する指導」

**教育科学「国語教育」（明治図書）９月号**
＜特集１＞　朝学習からICT授業、宿題まで「書くこと指導」アイデア大全
・達人がやっている「書くこと」の環境づくり・授業づくり
・朝学習・スキマ時間にできる！「書くこと指導」アイデア
・ICT（1人1台端末）を活用する！「書くこと指導」アイデア
・宿題（家庭学習）で力をつける！「書くこと指導」アイデア
＜特集２＞令和３年度全国学力学習状況調査の見方・活かし方

**教育科学「社会科教育」（明治図書）９月号**
・特集　《統計・地図から実物まで》授業で使える！㊙資料コレクション&活用の手引き

**「新しい算数研究」（新算数教育研究会編集、東洋館出版社）９月号**
・特集　資質・能力ベースの評価をいかに進めるか　ー数的な見方・考え方の成長と評価ー